

組			
番号			
氏名			

5 文法2 副詞・連体詞・助詞の用法

1 主として用言を修飾する副詞について、次の各問題に答えなさい。

- (1) 動作の様子を表す副詞を、状態の副詞といいます。線部の副詞は述語にどんな意味を与えていますか。後から選んで記号で答えなさい。

- ① 祖父はご飯をゆっくり食べる。 「オ」
 ② 海がきらきらと光っている。 「ウ」
 ③ いつもこの道であの人に会う。 「ア」
 ④ 危ない、すぐに避難しなさい。 「エ」
 ⑤ 雨がザーザー降っている。 「イ」

- ア 頻度ひんどを表す イ 擬音語ぎおんご ウ 擬態語ぎたいご
 エ 時間関係を表す オ 様子を表す

(2) 状態がどのくらいかを表す副詞を、程度の副詞といいます。線部の副詞が修飾している品詞の名前を書きなさい。 線

- ① この猫は、やっぱりかわいい。 「形容詞」
 ② 大きな月がぼっかり浮かぶ。 「動詞」
 ③ 海はたいへん静かだ。 「形容動詞」
 ④ もっとゆっくりと歩こう。 「副詞」

(3) 陳述ちんじゆつの副詞は、後に続く言葉が決まっています。線部の陳述の副詞に呼応こおうするように()の中に言葉を書きなさい。

- ① そのような話は全く聞いたことが()ない。
 ② それはまるで夢の()ような時間だった。
 ③ まさか中止にはなる()まい。
 ④ そんなことはとても信じられ()ない。

【注】「とても」には、陳述の副詞として用いる場合(後に打ち消しの言葉をとまなう)と、程度の副詞として用いる場合がある。

- ・ 彼がそんなことをするとはとても考えられない。(陳述の副詞)
- ・ 彼はとても大きい犬を見た。(程度の副詞)

